

2026.1
季刊 冬号
広報誌

ろうさいひろば

For Healthy Aging , nagasaki rosai hospital

～私たちはヘルシーエイジングに取り組んでいます～



©SASEBO

Contents

- ・新年のご挨拶
- ・医療トピックス【「オーダーメイド医療」の時代へ】
- ・新任医師の紹介
- ・初期研修プログラムを終えて
- ・地域医療連携懇話会開催について
- ・健康フェスタについて
- ・マイナ保険証・資格確認書による受付のお願い
- ・院内バレーボール大会について
- ・私の趣味「ランニング」
- ・スタッフインタビュー

理念

『勤労者と地域の皆様に良質な医療を提供します』

基本方針

1. 人権を尊重した患者中心の医療の実践
2. チーム医療に基づいた安全で専門的な医療の推進
3. 地域に根ざした急性期医療の提供
4. 早期社会復帰への支援
5. 予防医療による健康づくりへの貢献
6. 治療と仕事の両立支援及び産業保健活動の推進

Salutation 院長ご挨拶

新年のご挨拶

長崎ろうさい病院 院長 酒井 英樹



あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より当院の診療および地域医療活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、当院は佐世保県北区域における地域医療構想の趣旨に沿って、過剰な急性期病床数の適正化に着手し、3月より急性期病床254（46床減）、地域包括ケア病床50（増減なし）、合計304床の病院に変わりました。病棟をスリム化しましたが、のべ入院患者数は一昨年より増え、効率的な病棟運営に努めています。また、空いたスペースを活用して患者サポートセンターを新設し、さらに健康診断部を拡充しました。患者サポートセンターでは地域医療連携の推進と入退院支援の強化に取り組み、少しずつ成果を出し始めています。健康診断部では広く明るい待合室とゆったりとしたロッカールームを配置し、健診受診の皆様に快適な空間を提供できるようになりました。

昨年9月6日には、アルカスSASEBOで第33回長崎救急医学会学術集会を開催しました。テーマを「みんなで守る救急医療」とし、ひっ迫している佐世保市の救急医療を守るために、医療関係者や救急隊員だけでなく市民みんなで考え、行動していくことの大切さを共有できたのではないかと思います。大変暑い一日でしたが、ご参加いただいた皆様にあらためて感謝申し上げます。

当院は独立行政法人労働者健康安全機構の一員として、疾病の予防から治療、リハビリテーション、職場復帰に至る一貫した専門的医療を提供しています。このような特色を活かして、令和5年より「ヘルシーエイジングに取り組む長崎ろうさい病院」をスローガンに掲げ、地域の人々が健康的に歳を重ねるための医療を推し進めています。令和8年は、二次救急医療機関として外傷や急性期疾患に迅速に対応できる体制を強化するとともに、各種がん検診や健康診断・人間ドックをさらに充実させ、引き続き健康寿命の延伸と勤労者医療の充実に取り組みます。

今年の干支は丙午（ひのえ・うま）です。丙は植物の芽が生長し葉が広がる状態を表し、午は力強く前進するため成長や成功の象徴とも言われています。職員一丸となって、当院の取り組みを加速させ、地域医療へ貢献できるよう一層努力してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



病理診断科部長
力武 美保子

「オーダーメイド医療」の時代へ 病理診断科から見た新しいがん治療のかたち

病理診断科の力武と申します。私は、皆様から採取された組織を顕微鏡で観察し、細胞の形や並び方を丁寧に確認しながら、「良性か悪性か」「どのような種類の病気か」といった確定診断を行っています。普段、直接患者さんとお会いする機会は少ないのですが、診断結果はその後の治療方針を大きく左右します。いわば、治療の出発点をつくるのが病理医の役割です。

DXII 一人ひとりに合わせた治療「プレシジョン・メディシン」

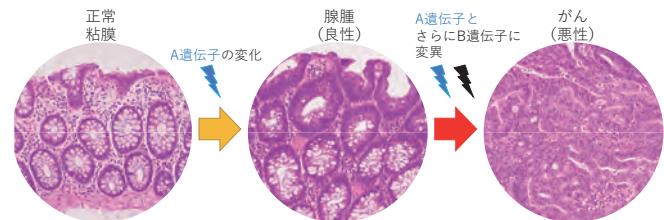
「プレシジョン・メディシン（精密医療）」という言葉は聞いたことがありますか？これは、患者さん一人ひとりの遺伝子や生活環境の違いを考慮して、最適な治療を選ぶという考え方です。日本では「オーダーメイド医療」とも呼ばれています。2003年にヒトゲノム（人の全遺伝情報）が解読されて以来、遺伝子を調べる技術は急速に進歩しました。顕微鏡では同じように見えるがんでも、実際には原因となる遺伝子の変異（変異）がそれぞれ異なります。この違いによって、効果のある薬や治療方針まで変わることがあるのです。

DXII 「遺伝子パネル検査」で広がる可能性

以前は、肺がんや大腸がんなど一部のがんで、数個の遺伝子しか調べられませんでした。しかし現在は、「遺伝子パネル検査」という方法で、数十から数百の遺伝子を一度に解析できるようになりました。これにより、従来の治療では効果が得られなかつた方でも、パネル検査で「効果が期待できる薬」が見つかる可能性があります。実際、こうした検査が新しい希望の光となるケースも増えています。また、この検査から新しい遺伝子変異が発見されることもあり、病気の成り立ちに関する医学的な理解も深まりつつあります。これが、未来の新薬開発や診断技術の進歩にもつながっています。

DXII 遺伝情報は厳重に守られています

この検査では、がんの原因となる変異だけでなく、遺伝性の強い腫瘍の可能性が分かることもあります。もし「遺伝性かの結果を知りたくない」と希望される場合は、検査結果の開示を制限することもできます。もちろん、遺伝情報は厳重に管理され、本人の同意なく第三者が知ることはできません。



いろんな遺伝子変異が蓄積、良性の腫瘍→がん（悪性）に変化していく

DXII 病理診断科の見えない努力

遺伝子パネル検査に使われる検体は、手術や生検で採取された組織を病理診断科で丁寧に処理・管理して得られます。DNAやRNAといった繊細な分子は非常に壊れやすいため、温度や時間、保存液など、細部にわたって注意を払っています。こうした地道な作業が、正確な遺伝子解析と信頼できる結果を支えています。

DXII 未来へ向けて

「オーダーメイド医療」は、もはや遠い未来の話ではありません。病理医は、顕微鏡の向こうにある一人ひとりの物語を想いながら、見えないところで患者さんの治療を支える“縁の下の力持ち”です。一枚のスライドガラスの中に、確かな診断と最適な治療の道筋を見つける——それが私たちの使命です。

本年も皆様が健やかに過ごせるよう、病理診断科一同、努力を重ねてまいります。

新任医師の紹介

令和7年12月1日付け採用

臨床検査科



まつなが
松永 耕

防衛医科大学校 H2.3卒

海上自衛隊を定年退官し、
地元佐世保市の長崎労災病院
で勤務できることを大変嬉しく
思います。耳鼻咽喉科専門
医、高圧医学専門医です。
どうぞよろしくお願ひします。

長崎労災病院初期研修プログラムを終えて



[研修医] 谷口 慎一郎

長崎労災病院での2年間の初期研修を無事に終えることができ、指導してくださった先生方、支えてくださった医療スタッフの皆さんに心より感謝申し上げます。忙しい日々の中でも、各科で多くの学びと経験を得ることができ、医師としての基礎を築く貴重な時間となりました。医療的知識のみならず、主技的な技量、社会人としての姿勢を身につける事ができました。また、学会発表を通して学術的な経験、健康増進イベントを通して社会的な経験を積むことができたと思います。救急対応やチーム医療の大切さを実感し、患者さん一人ひとりに向き合う姿勢の重要性を再認識しました。ここで培った知識と姿勢を活かして、今後も長崎の消化器内科医師として医療に従事していくたいと思います。本当にありがとうございました。再び長崎労災病院で働く機会があると思いますので、その時はどうぞよろしくお願ひいたします。



[研修医] 江口 哲司

長崎労災病院での研修も残りわずかとなりました。最初は先輩がおらず、同期も1人だけで不安でしたが先生をはじめ、病院スタッフの協力もあり楽しい研修生活を送っています。特に、私は外科系に興味があるので、県内でも圧倒的な症例数を誇る整形外科での研修では、多くのことを実践的に学ばせていただきました。救急の初期対応を初め、オペの手順まで丁寧に教えていただき、大変有意義な研修であったと思います。また、内科系の研修は循環器、消化器、呼吸器と6ヶ月間網羅的に学ばせていただきました。当院に無い診療科であっても、大学で学ばせていただくことも可能で、研修に関するバックアップ体制の手厚さには感謝しています。研修も残すところ残り数ヶ月ですが、日々勉強し、3年目以降に繋げられるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

地域医療連携懇話会を開催しました！

近隣医療機関の皆様との一層の連携を図ることを目的に、長崎ろうさい病院地域医療連携懇話会を9月に佐世保地区（JAさせぼホール）、10月に松浦地区（松浦シティホテル）の2会場にて開催しました。

今回は意見交換会を中心に行催し、多職種での活発な意見交換の場となりました。本懇話会を通して、顔の見える連携の重要性を再確認するとともに、今後のさらなる連携強化につながる有意義な時間になったと思います。



2025
11/15
土曜日

長崎ろうさい病院 健康フェスタ2025を開催しました!!

患者サービス向上委員会

令和7年11月15日(土)に、「長崎ろうさい病院 健康フェスタ2025」を開催しました。当院では、地域の方々との繋がりを深め、健康に対する関心を高めてもらう趣旨で、毎年「健康フェスタ」を開催しています。今年は天候にも恵まれ、多くの地域の方々に参加していただきました。

シンポジウム



医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養管理士が、「乳がん」をテーマに治療やリハビリ等について講演を行いました。

ヘリポート見学



病院の屋上にあるヘリポートの見学を行いました。
当日は秋晴れで、病院周辺の景色もよく見渡せました。

インボディ測定



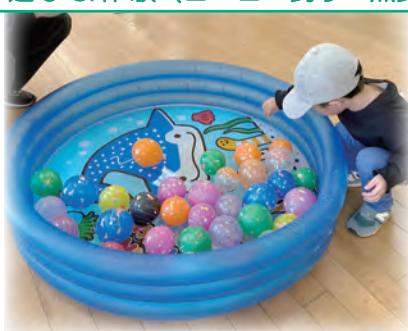
インボディ測定は、全身の筋肉量・体脂肪・水分量等を測定できる検査です。数分でいろいろな体成分が測定できるため、毎年人気の検査です。

よろず相談



参加者の方からのご相談を医師・看護師・薬剤師・栄養管理士がお受けしました。

遊び＆体験（ヨーヨー釣り・魚釣り・記念撮影）



ヨーヨー釣りや魚釣り、お菓子のつかみ取りなどの遊びや、白衣・ナース服を着て救急車に乗ったり、写真撮影ができる体験を行い、小さなお子さんから大人の方までたくさんの方に楽しんでいただきました。

参加していただいた地域の皆様ありがとうございました。
来年も開催を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

お手元の健康保険証の有効期限は、
令和7年12月1日で満了となりました。
 これからは
マイナ保険証か**資格確認書**
 での受付をお願いいたします。

マイナ保険証



マイナンバーカードを
 顔認証付きカードリーダーに置いてください

※利用する際は、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限にご注意ください

資格確認書



これまでと同様に受付にてご提示ください

※保険者によって様式・発行形態が異なります

マイナ保険証を
 お持ちではない方

資格確認書が
 交付されています

マイナ保険証の
 利用が困難な方

- ご高齢の方
- 障害のある方

申請いただくことで資格確認書の
 交付を受けることができます

※後期高齢者医療制度にご加入の方には、
 R8年7月までの間はマイナ保険証の有無
 に関わらず、申請によらず交付されます

詳しくは、加入している保険者にお問い合わせください

第12回

ソフトバレー大会を開催しました !!

秋労バレー実行委員会

10月に第12回院内ソフトバレー大会を開催しました。今年も、応援を含め多くの職員が参加し、
 大いに盛り上がりました。昨年、5年ぶりに開催し、「今後も継続して開催してほしい」との要望が多く、職種
 や世代の壁を越えて交流を深めることができ、また、身体を動かす習慣のきっかけにもなっているようです。

今後も「スポーツの秋」をみんなで楽しみたいと思います。



Column

\私の趣味/

『ランニング』

6西病棟 満園 美考

私の趣味はランニングです。6年前に走り始めてから、ハーフマラソン、フルマラソン、ウルトラマラソン、トレイルランニングなど、さまざまな大会に出場してきました。普段は週4～5日、月間300キロを目標に走っています。最近は日が落ちるのも早く、寒さも厳しいので「今日は走のをやめようかな…」と思うこともあります。それでも走り続けられるのは、ランニングを通して得られる達成感と心地よさがあるからだと思います。

先日は長崎平和ハーフマラソン大会に出場し、年代別女子3位に入賞することができました。とても励みになり、次の目標も見えてきました。今度は100キロのウルトラマラソンに挑戦する予定です。そして、いつかは憧れのホノルルマラソンにも参加してみたいと思っています。

**Topics**

スタッフインタビュー

vol.24

今回は、4西病棟師長 岩永 佐知子さんに
インタビューしました。

**Q1**

4西病棟（地域包括ケア病棟）はどのような病棟ですか？特色や仕事をする上で心がけていることについて教えてください。

A

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終えた患者さんが安心して地域社会へ戻れるよう、リハビリや日常生活訓練、生活支援を行う「架け橋」となる病棟です。病気の治療だけでなく退院後の暮らしを見据え、医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカーが連携し、患者さんとご家族に寄り添いながら支援しています。また、手の外科を中心とした周手術期の患者さんの受け入れも行い、術後の回復を温かくサポートしています。患者さんから「ここで過ごせて安心した」と言っていただけることが私たちの励みであり、笑顔で地域へ戻れるよう心を込めて取り組んでいます。

Q2

岩永師長さんは当院以外の労災病院での勤務経験がおありですが、当院で働いてみて、どのような印象をお持ちですか？

A

大学病院から当機構へ転職し、関東労災病院で10数年の勤務を経て長崎労災病院へ転勤してきました。長崎労災病院の印象は、多職種とのつながりが非常に強く、職員同士が名前と顔を自然に覚え合えるほどアットホームな雰囲気があることです。医師・看護師・リハビリスタッフ・事務などが垣根なく協力し合い、患者さんのために一丸となって取り組める環境は大きな魅力だと感じています。さらに職員には地元出身の方も多く、患者さんにとっても心強く安心できる環境です。地域に根差した病院として、温かい人間関係の中で力を合わせ、患者さんを支えていくことに大きな喜びを感じています。

Q3

岩永師長さんの休日の過ごし方やリフレッシュ方法について教えてください。

A

休日は以前、サッカー観戦やサーフィン、ゴルフなどアウトドアで仲間と楽しむことが中心でした。しかし子育てやコロナ禍、転勤を経て、今は特別なことをするのではなく、神社のお祭りや地元の行事への参加、サイクリング、子どもと公園で遊ぶ時間を大切にしています。そうした日常の中で「愉しく」過ごすことが、私のヘルシーエイジングにつながっています。毎日の小さな楽しみが心身を元気にし、地域の人々との交流を通じて支え合えることに喜びを感じています。自然や空気に恵まれた長崎で、地域に根差した暮らしを楽しみながら穏やかにリフレッシュできています。

今回は4西病棟の岩永師長へインタビューを行いました。

他病院での勤務経験を通して得た知見を活かし、当院でも活躍されている岩永師長。患者さんと地域社会をつなぐ架け橋としての役割を担う4西病棟で、患者さんの現在だけではなく、退院後の生活にまで目を向け包括的な支援を行っていらっしゃいます。変化する環境の中でも、日々愉しみを見つけながら取り組まれていることが、岩永師長の細やかなサポートに繋がっているのではないかと思いました。

各科外来診療担当医師一覧表

2026.1.1 現在

診療科	曜日	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
一般内科	新患	本田章子 卜部繁俊		吉村映美 延末謙一		後藤貴史		池田 徹 鍬塚磨呂		山領 豪	
	再診	山領 豪	後藤貴史	池田 徹 卜部繁俊		延末謙一 鍬塚磨呂		本田章子 肝臓専門外来 (予約)		後藤貴史 吉村映美	
循環器内科	新患	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
	再診	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
外科	新患	前田茂人 笠伸大郎		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 笠伸大郎	
	再診	前田茂人		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 笠伸大郎	
乳腺・甲状腺外来			前田茂人 ○ (要確認)			岩田 亨 ○ (要確認)					橋本敏章 ※マンモグラフィー 検診のみ
整形外科	新患	鳥越雄史 中山宗郎 樋口尚浩		今井智恵子 徳永敬介 水野聖来	馬場秀夫 (セカンドオピニオン) (第4週のみ)	徳永敬介 貞松毅大 横田 栄		馬場秀夫 田中奈津美 豊島嵩正		神崎衣里 磯部優作 松崎宏生	
	再診	馬場秀夫 田中奈津美		貞松毅大 神崎衣里 樋口尚浩		鳥越雄史 今井智恵子 中山宗郎		磯部優作 松崎宏生 水野聖来		徳永敬介 豊島嵩正 横田 栄	
形成外科	今泉敏史		今泉敏史		今泉敏史					今泉敏史	
脳神経外科	北川直毅		高平良太郎		北川直毅		近松元気		高平良太郎 (第1・3・5週) 近松 元気 (第2・4週)		
皮膚科					(非常勤)				(非常勤)		
泌尿器科	丸田 大 スッキリ 排尿外来		前川暢秀		酒井英樹 スッキリ 排尿外来		丸田 大		前川暢秀 スッキリ 排尿外来		
眼科					長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)		
耳鼻咽喉科			長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)				
リハビリテーション科					田中奈津美 (完全予約制)				田中奈津美 (完全予約制)		
放射線科	川原康弘				川原康弘		川原康弘				
麻酔科	大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		

※ ○ (要確認) : 予約のご相談が可能です。外科外来にご確認ください。



独立行政法人 労働者健康安全機構

長崎ろうさい病院

発行責任者 酒井 英樹

〒857-0134 佐世保市瀬戸越2丁目12番5号
TEL 0956-49-2191 FAX 0956-49-2358
www.nagasakih.johas.go.jp

受付時間 新患／午前 8:15～午前 11:00
 再来／午前 8:15～午前 11:00

休診日 土・日曜・祝日 (振替休日を含む)・国民の休日
 年末年始 (12月29日～1月3日)

※救急患者はこの限りではありません。



【バス】西肥バス「矢峰経由柚木行」もしくは「矢峰行」に乗車【労災病院入口】にて下車
 【タクシー】佐世保駅より約20分 左石駅より約3分
 【MR松浦鉄道】左石駅・泉福寺駅より徒歩約10分